

令和7年度 宮崎地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

ケアプラザの機能をまだ理解されていないエリアがあると思われます。身近なケアプラザとあっていただけると、今まで活動が手薄なエリアで意識的に啓発活動に取り組んでいきます。また地域の担い手も不足していると認識しています。地域の活動に積極的に参加し、またケアプラザでも魅力的な事業を展開していき、今まで参加がなかった住民にも興味を持っていただき交流の輪が広がるよう地域や各団体と協力しながら活動を継続していきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	ケアプラザの自主事業や健康に関する講座を、ケアプラザから遠く情報が届きにくい老松町・西戸部・霞ヶ丘・赤門エリアなどで情報発信し、該当地域に重点的に広報活動を展開していきます。
☐	☒	現在把握している地域住民主体のサロン・NPO主催のサロンや高齢者向けのグループ活動、訪問サービス・自治会の情報を更新し、インフォーマルサービスリストやAyamuに反映してケアプラザ内で共有するだけでなく地域住民やケアマネジャーにも情報提供し、必要なサービスが必要としている方に届くよう情報共有を密にしていきます。
☐	☒	第一・第四地区懇談会・第一地区高齢支援部会などの部会を活用し、地域に必要な資源や課題の解決について話し合っていきます。 また、これまでの話し合いの中で共通の課題として挙げた認知症や障がいについての勉強会や講座の開催で知識を深め、誰もが住みやすい地域作りを構築していきます。
☐	☒	JAGESや地区概況シートから得た情報や、包括への相談から得た地域の課題について地域住民と共有し、必要とされる資源についても共通認識を得ることで新たなサービスの創出を促していきます。（霞ヶ丘・老松町・赤門・東ヶ丘など）また、ケアプラザの事業を自治会館などの小さな単位で開催して、誰でもが参加できるよう工夫し新たな担い手候補を発掘していきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

坂が多く外出が困難になりやすいエリアで、また近所のスーパーが立替えのため長期休業となっていることから、昨年度に引き続き今年度もお買い物支援に力をいれ積極的にケアプラザの車両を活用していただきました。今後は地域の住民も巻き込みながら必要なエリアに定期運航できるよう協議していきます。また自主事業で新たに体操サロンを立ち上げ自主化を支援してきました。地域住民が意識的に活動できるよう今後も支援を継続し地域の担い手を増やしていきます。地域の見守り体制強化では、赤門エリア、野毛山エリアの集合住宅をターゲットにケアプラザ事業の周知、出張ケアプラザの開催等実施し、相談機関としてのケアプラザを意識的に啓発してきました。そしてみやざき祭りでも第一地区、第四地区社協にも協力していただきながら、たくさんの担い手の方と共に盛大に開催し、プラザの事業の説明、各地区の活動の啓発に力を入れました。今後も関係箇所と連携しながら、地域の拠点として各課題に釣り組んでいきます。

☐ 区からのコメント

（全事業共通事業）

○様々な機会を捉え、地域の課題把握に努め、住民主体の地域活動の支援、高齢者が多いマンションへのアプローチの検討、住民と協働した地域拠点の形成などに尽力し、成果をあげました。また、起伏の多い担当エリアであることから、地域イベントでの出張相談会の企画や福祉車両活用による移動支援の取組は社会参加の機会づくりや「つながり・交流」の機会を生んでおり、今後も重要な取組であるため、引き続きの取組を期待します。

○ケアプラザの貸室業務や自主事業も精力的に行い、地域住民のニーズ把握に努めています。引き続き、職種・組織を越えた連携による地域アセスメントを継続し、把握した個別課題の積み重ねから地域課題を捉え、住民主体の地域づくりにつなげられることを期待します。

○また、にこまちプラン地区別計画の推進においては、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の3者で連携しながら、地区支援に取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

○各エリアの様々な居場所等を支援されていることで活発な地域活動が維持されています。今後も引き続き、多職種によるアセスメントを通じて、地域での支えあいの取り組みがより一層推進されるよう支援をお願いします。

（地域包括支援センター事業）

○認知症のある人も役割や生きがいを持って参加できる地域づくりを目的に、地域ケア会議を開催し、そこでの意見交換を大切にしながら、身近なチームオレンジの活動や企画に生かしていただきました。地道な取組の積み重ねが地域づくりにつながっていることに感謝いたします。また、丁寧な地域アセスメントのもと、特に支援が必要なエリアへの出張相談を継続されました。今後も各事業を目的に照らして効果的に連動させるとともに、包括ならではの機能を生かしたケアマネジャー等への後方支援の充実を期待します。